



会員のひろば

車内・車窓から見る宣伝

札幌市医師会 門脇 純一

いまの世のなか、壮烈な宣伝競争を呈している。電車の壁、バスなどの車窓から見え、気になり、興味をひいた幾つかを拾ってみた。時代とはいえ、煙草についての宣伝は群を抜いて多かった。

おやっと、思わせる奇抜なもの、公德心を思い起こさせるもの、つい、にやっとしてしまったものなど、人生、生活の断片に触れた思いがした。

煙草

- 吸われて、燃えて、捨てられて、煙草でなければ、泣いている。
- 捨てる人は拾わない。捨てない人が拾っている。
- 禁煙の構内を出ながら吸った、煙は逆に入っていた。
- 私に手を振る人がいた。煙を払う仕草だった。A person was waving me. He was waving away my smoke. (英語の付記のある例)
- たばこを持つ手は、子どもの顔の高さだった。
- 自分のたばこはカオルもの、人のたばこはニオウもの。
- ケータイ灰皿は、どんな場所でも吸っている、許可証でない。
- ケータイ灰皿、持てればよかったと、捨てる時だけ、よく思う。

- 体はよけた、それでも煙はぶつかった。
- 夏。たばこすれちがう腕は裸だ。
- 700度の火を持って、私は人とすれちがった。

Meet your Delight

- Hope Super Light (煙草の商品名) JT ; ざっと180近い項目数の説明。

その他

- 美食市場・ごちま;(ごちそうさま?の略)
- DoCoMo; どこも、宣伝でいっぱい。
- 自動契約機; 顔パス、パスキー。
- 夏場に多い食物の旗による宣伝; 旬の食種。
- ガソリンスタンドでも旗振りあり。
- 交通安全の旗振り; PTAのお父さんと同じ背広を着た、どこかの職員さんによる。
- 自分を磨く; ビジネス、キャリア制度試験。
- 明日の自分が見えてくる; 道文教大のオープンキャンパス
- 欲張り; 旅行会社。
- おっ; 交通広告。
- 夢みるブラ; 夢みるプランだと思ってよくみたら。年のせいかな?
- 自分だといいきれる。自分をみつきたい; 札幌国際大学。
- 笑・笑; わら・わらと読ませる。苦心してつくられた居楽屋。飲んで、食べて、の満足感からでてくる笑い? それとも、単なる笑いを狙ったのか。素直に笑っているのか。考えさせる。

視力低下は判然としていても、こんなことは、目に飛び込んでくる。品格が疑われても、いたしかたがない。

地域探訪の楽しみ

胆振西部医師会
北湯沢温泉病院 御園生 潤

大学院修了後の平成元年4月、私は認定病理医の受験資格獲得と、その合格を目指して旭川市の基幹病院に出張医の身分で母校の病理学講座から派遣された。携帯電話の普及はなく、ポケットベルとテレホンカードの手放せない、事実上、24時間、365日の拘束の生活であった。病理解剖の年間総数は200体に迫っていたように思う。旭川の中心街に自費で借りた2LDKの部屋と病院の間を多いときには、夜間3往復したものである。当時の上司は諸般において厳しくもあったが、良く若輩の私の教育を多角的にしてくれたと、この年齢になって、つくづく感じる。

6月の末になり、週末2日間の休暇が許諾された。天候は良好であり、大好きな道東方面への1泊2日のドライブを急遽決行した。旭川と道東の間は十分日帰り圏内である。モデルチェンジ直前で購入し、大いに入れこんでいた、ホワイトのMR2 (Aw-11) を飛ばして、早朝、旭川を後にした。カーラジオでは、美空ひばりの訃報が伝えられていた。

旅程は、滝の上の芝桜を觀賞後、サロマ湖畔を経て、小清水に至り、早咲きのエゾスカシユリを觀賞した後、ウトロに至った。港で乗船した知床観光船(知床岬航路)で知床岬突端を一往復し、途中の険しい山々の風景と全く逆な草原である岬突端の姿を目に焼けつけることができた。知床連山は目に眩しい緑と頂上の残雪が良好なコントラストをなし、美しかった。観光船にはカモメが群をなしてつきまとい、船のスピーカーからは、アローナイツの「流水」がBGMとして流されていた。この日はウトロの民宿案内所で案内された宿に投宿した。夕食は宿の家族もまじえた豪勢でにぎやかなもので、多大なもてなしに感動した。翌日は知床岬を通過してから帰途につき、多大な思い出を作ることができた。

現在の私の勤務地は道央の大滝村。自宅は石狩市。ここから、道東旅行を、このようなルーティングで再び強行することは、年齢的にもスケジュール的にも、まず不可能である。

反面、当地に赴任以来、余暇を利用し、自分自身で開拓し、あるいは知人・友人の案内などによって、周囲の名所・景勝地・史跡などを、かなりの程度まで極めることができたように感じる。

臨床医のうち、勤務医の場合には、医局の都合による人事異動、個人の都合による転職による勤務先変更、いいかえれば転居が比較的多いと思う。それも、時には都道府県を越えての移動を経験することもある。転居、転勤は一般的には、繁雑で、わずらわしさを伴い好感を持たれない場合が多いが、逆に考えると、可及的・合理的に時間を費して、新任地の周囲について一定範囲で、様々な地域の風景・風情などとふれあうチャンスを手の中にするとも解釈でき、本人自身にとってプラスの側面もあると思っている。



サロマ湖畔にて(平成元年6月)